

高田城址公園の桜を 100 年後に残そう 『桜プロジェクトJ』 活動の輪を広げよう！

上越市の大切な資産であり、貴重な観光資源である高田城址公園の桜！これからも 100 年後も元気な桜を目指し、活動をもっと広げていきましょう！

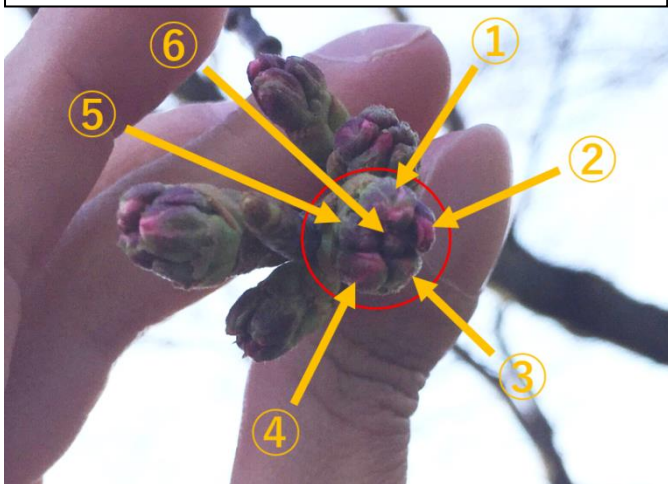
※ 令和 2 年の開花調査結果

昨年 4 月に、桜の 1 つの花芽にいくつの花が付いているかを 3 本の桜（B498、B619、B651）について皆さんから観察、調査していただく活動を行いました。本来であれば今年も皆さんから観察していただき、昨年と比べてどうなっているかを調査する予定としておりましたが、活動が中止となってしまいましたので、桜守が調査した結果と比較してみましょう。

表 花芽 1 つ当たりについている花の数（平均値）

	調査木 No.			備 考
	B498	B619	B651	
H31.4	3.4	3.3	2.9	桜プロジェクトJで調査
R2,4	4.0	4.0	3.7	桜守で調査

1 つの花芽に 6 つの花が付いている様子



昨年の花数調査の様子



B498 は高田城址公園の開花宣言木です。桜プロジェクトJ活動時の調査と今年桜守で行った調査で花を数えた花芽の数に違いがあるので、それぞれ平均値で比較しています。

桜は 1 つの花芽から 4 つの花がついていると生育が良いと言われています。生育が旺盛なものは 5 つ以上花をつけるものもあります。結果を見ると、3 本とも花数が増えていることがわかります。中には花を 5 つ、6 つ、7 つ付けている花芽もありました。

桜守では昨年から 1 年を通して定期的に観察する桜（観測木）を決めて管理しています。この観測木のうちのソメイヨシノ 21 本についても桜守独自に花数を調査していますが、こちらの調査でも多くのものが昨年よりも花数が増えている結果となりました。花数が平均 4 つを超えているものは昨年は 1 本もありませんでしたが、今年の調査では 21 本中 8 本が平均 4 つ以上という結果になりました。結果が良くなった要因についての詳細は今後も引き続き調査を行って行く

必要がありますが、胴吹きやひこばえの剪定を見直し、全て剪定するのではなく、枝を選んで剪定するようにしたことや、お礼肥の肥料を数年前からゆっくりじわじわ効く種類に変更した効果が少しずつ出てきているのではないのでしょうか。

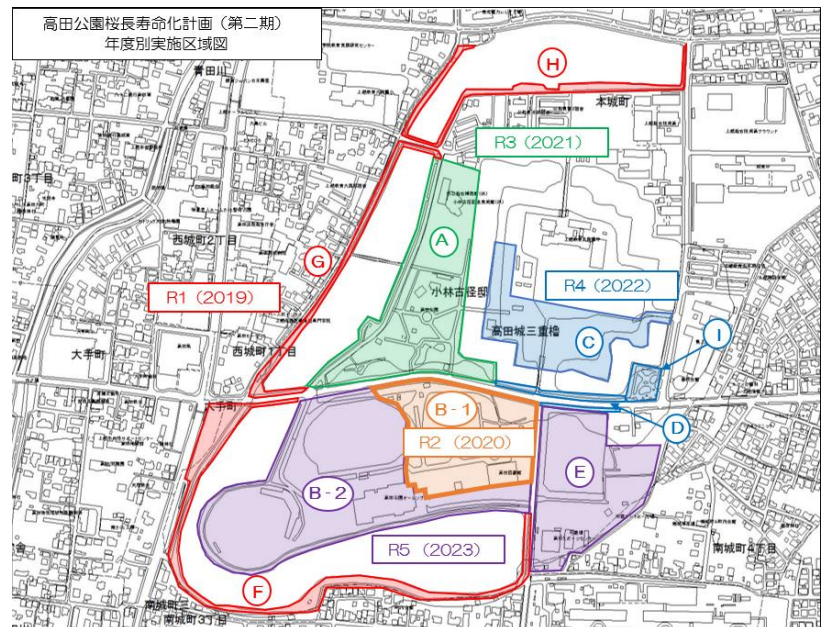
花数調査では1つの花芽に着目した調査ですが、桜守では花のつき具合を見るもう一つの指標として、木全体を見たときの印象がどうかという調査も行っています。1つの花芽につく花数の調査は昨年よりも良い結果となった一方、こちらの調査では昨年よりも評価が悪くなったものが多くありました。昨年度桜長寿命化計画に基づき、外堀の外側のエリアの桜について枯枝や混み合っている枝の剪定を重点的に行いました。このエリアについては剪定により枝の数が少なくなったので一時的に評価が悪くなったものと思われる。その他のエリアでは、過密によってお互い被圧し合った結果、衰弱したり枯れてしまっている枝があることが原因と考えられます。

おとし、昨年と夏が猛暑となり、雨が少なく、気温40℃を超える日もありました。今後その影響がどのように出てくるかも注意深く観察しながら、引き続き土壌改良と枯枝の剪定、過密の改善に取り組んでいくことが必要です。



✿ 桜長寿命化計画 令和元年度の実績と令和2年度の取組

令和元年度は桜長寿命化計画第2期の1年目で外堀の外側（F、G、Hエリア）を重点的に処置を行いました。樹勢が悪く、樹勢回復の効果が見込めない桜を23本伐採し、過密にならないように新たに5本植樹を行いました。植栽した桜はシンダイアケボノという品種です。花の時期、色がソメイヨシノとよく似ており、ソメイヨシノより病気に強いことから日本花の会がソメイヨシノに代わる品種として推奨しています。また230本の桜について、枯枝や混み合っている枝の剪定を行いました。



令和2年度は忠霊塔周辺（B-1エリア）の桜について、伐採9本、植樹3本、剪定181本を実施する計画です。8月頃現地調査を行い、具体的に実施する木や本数を決定します。

✿ 『桜プロジェクトJ』令和2年度の活動を開始します！

今年度に入り、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を見合わせて来ましたが、第一回活動を6月27日（土）に行うことで決定いたしました。詳細は別途、「令和2年度第一回活動のお知らせ」にてご確認ください。